

一步前進 四国のジュニア育成

小中学生大会きっかけに



コースでのプレーは初めてのちびっ子も元気いっぱい(昨年8月、新居浜CCでの第一回四国小中学生大会で)



全国のちびっ子ゴルファーとも対戦(昨年9月、福島県で開かれた全日本小学生ゴルフトーナメント決勝大会で)

J G A 委員会
全国大会創設へ



2007.1.15
第25号

発行
四国ゴルフ連盟
〒790-0921
愛媛県松山市福音寺町55-1
電話 089-990-3260
FAX 089-990-3261

の一環として教育現場にゴルフを導入している。日本でも学校教育に取り入れたらいじめ問題の防止に役立つのではないか。

地元石丸さん初V
選手権は月原さん

第50回グランドシニア会



四国グランドシニア会の平成18年度第50回秋季競技は昨年11月、松山GCで開かれた。同会の創立25周年記念大会で、114人が参加しアンダーハンディ制で熱戦を開催、地元の石丸永幸さん(松山)が二度目は「グラウスがフレイジングエリボーのスイングでデビューした時。それまでのスイングは特にビッグリー時代は両肘を体につけていたのを、彼は右肘を離して上膊を水平に上げています。

このスイングについて、當時、喧々譁々の意見が出ましたが、ヘッドスピードを早めるには大事で、この時から飛距離が伸びました。以前ベーン・ホーガンのダウンブロー・スタイルで基盤整備を進めてきた。

スイングの変遷

その後、ダウンブローは忘れられ、アイアンでもあまりドライブを取りなくなりました。新帝王のワトソンはアイアンのブレードをボールと芝の間を通して、つまりスルーという言葉を使いました。現在のアメリカ選手はほとんどこれでドライバーの打ち方もアッパークロウのためティーがそのまま残っています。スイングも時代とともに変化するものですね。



スイングが流行しついにはドライバーまでダウンブローでと言う人までいました。陳清波が日本でのモダーンゴルフを翻訳出版してドライブを深く長く取るのが流行しましたが、アメリカのビーマン・コミッショナーが来日し日本人プロのスイングは30年前のスイングだと決めつけられて変わりました。

第51回全国高校、中学校ゴルフ選手権が8月、土佐CCで、全国高ゴ連など主催。8月4~10日まで団体、個人戦を各2日ずつ。四国での開催は初めて。

たんしん



年頭あいさつ
四国ゴルフ連盟理事長 大亀孝裕

はこうした環境づくりの結果、大会には約百人の児童生徒が参加しゴルフの楽しさ、難しさを学んだ。この体験の積み重ねがやがてゴルフの普及につながっていくに違いない。

四国ゴルフ連盟のジュニアゴルフ育成事業が大きく動き始めた。昨年初めて開催した「四国小中学生大会」がきっかけで、今後の展開が注目される。

必ずを担うジュニア層の開拓と健

全育成が重要課題であることは論を待たない。平成11年にはゴルフ関連団体が「育成協議会」を結成底辺拡大のプログラムが提言された。これを受けて四連では、各県協連

ゴルフの良さ 知つてもらおう

ます。それだけに団塊世代の大量退職の始まる今年は、シニア層と団塊ジュニアをいかにゴルフ場に取り込めるか、まさに正念場の年と言えます。関東ではすでに会員権相場への好影響が伝えられており、私たちも

ゴルフといふスポーツには、健康的維持増進のほか教育的効果もあることが知られている。プレーを通じてルール、マナーを守る大切さ、さらには判断力、自己責任、他者の思いやりなどを自然に学ぶことができる。

欧米のゴルフ先進国では人間形成

日本経済は目下、戦後最長の「いざなぎ景気」を超える景気拡大が続いているが、四国のゴルフ業界は依然、カヤの外の状況に置かれてい

日本ゴルフ協会(JGA)ジュニア育成

盟や加盟クラブと協力し、スナックゴルフやゴルフ教室を開催。平成15年に各県ごとの小中学生ゴルフ大会などで基盤整備を進めてきた。

成委員会も今年の11月に小学生ゴルフ大会(仮称)の創設を決めている。全国大会の立ち上げは子供たちにとって朗報といえよう。

ゴルフの良さには、健康的な開拓と健

全育成が重要課題であることは論を待たない。平成11年にはゴルフ関連団体が「育成協議会」を結成底辺拡大のプログラムが提言された。これを受けて四連では、各県協連

す。ジュニア育成の更なる前進が期待できるでしょう。また、女性層の積極的な開拓を進めねばなりません。どのスポーツ

も参加でき、多くの球友との交流も広がります。今年の第六回大会にぜひ参加を。

ゴルフは老いも若きも共に楽しめる唯一のスポーツです。ゴルフの魅力、良さを一人でも多くの人に知つてもうそれがゴルフの振興と発展につながると思います。

平成19年度四国ゴルフ連盟主催競技

第27回 四国女子アマ選手権	5月17~18日	タカラガワ東徳島GC
第27回 四国アマ選手権	6月6~9日	松山シーサイドCC
第27回 四国ジュニア選手権	7月26~27日	北条CC
第27回 四国クラブ対抗決勝	8月3日	土佐山田GC
第14回 四国ミッドシニア選手権	9月19~20日	坂出CC
第14回 四国グランドシニア選手権	9月19~20日	坂出CC
第27回 四国シニア選手権	9月26~27日	徳島CC
第6回 四国レディスゴルフ大会	11月1日	瀧の宮CC

国民体育大会・日本スポーツマスターズ

第62回 国体ゴルフ競技(秋田県)	10月4~6日	成年男子 秋田椿台CC 少年男子 南秋田CC 女子 秋田CC
第7回 日本スポーツマスターズゴルフ競技(滋賀県)	9月18~20日	男子 近江CC 女子 琵琶湖CC

第15回 日本女子シニア選手権	5月10~11日	宝塚GC	第72回 日本オープン	10月11~14日	相模原GC
第49回 日本女子アマ選手権	6月19~23日	高崎CC	第17回 日本シニアオープン	10月25~28日	くまもと中央CC
第92回 日本アマ選手権	7月3~7日	愛知CC	第14回 日本ミッドシニア選手権	11月5~6日	小金井CC
第13回 日本ジュニア選手権	8月15~17日	霞ヶ関CC	第14回 日本グランドシニア選手権	11月5~6日	小金井CC
第61回 日本学生選手権	8月21~24日	北六甲CC	第29回 日本シニア選手権	11月7~9日	狹山GC
第44回 日本女子学生選手権	8月22~24日	北六甲CC	第12回 日本ミッドシニア選手権	11月14~16日	小野GC
第40回 日本女子オープン	9月27~30日	樽前CC	第12回 日本女子ミッドアマ選手権	11月15~16日	グリーンバーズGC



名物ホールの「松コース」4番は谷越えのミドル。グリーンから眼下に吉野川平野が一望出来る。

当クラブ誕生には、「マイコース」を渴望した地元の熱い思いがあり

ある日、5人の地元名士が酒を酌み交わしていました。いずれもゴルフが飯より好きな人々。ゴルフ談義で盛り上がった席で「近くにコースがほしい」と話題になりました。

その中心になつたのが当時、地元で製糸業を営んでいた故・筒井康二氏で、やがて開発会社の初代会長として新コース建設の先頭に立ちます。

最初から27ホール一挙完成を目指して、砂崩れなどで多くの犠牲者が出来ました。